

もうせん



続・長崎毛氈モノ語り

長崎の幻の地場産業

緋毛氈<ひもうせん>(ハレの場で使用する敷物)の長崎における江戸期の毛氈文化と技術、地場産業としての育成の経過を学び、毛氈に対する当時の長崎の人々の心、夢に思いを馳せる。

期日	内容
11月5日(火)	【講義】毛氈とは？ 分解鏡による毛氈を観察する。唐人貿易で輸入された毛氈の実態をおさえ、長崎でどのように使用されたかを考察する
11月12日(火)	【講義】毛氈を地場産業としようとした背景と、導入された毛氈技術を考察する
11月19日(火)	【町歩き】長崎事始めである毛氈の技術導入場所をめぐる。当時の絵図をもとに、毛氈製造で必要とした晒池や職人町を確認する。
11月26日(火)	【観察・制作】江戸時代に輸入された実物毛氈に触れ、色や模様を観察する。好きな色・形のフェルトを自由に選び、緋毛氈をボンドで貼り合わせて毛氈コースターを作る

【講師】 砂崎 素子(長崎毛氈研究所所長)

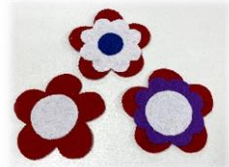
【時間】 13:30~15:30

【会場】 長崎市中央公民館 第2研修室(長崎市民会館2階)

【対象】 成人20名程度(応募者多数の場合は抽選となります)

【受講料】 無料 【持参する物】 筆記用具

【材料費】 11/26 コースター制作用お一人100円(当日集金)



受講お申込み方法 往復はがき・インターネット・直接来館

◎往復はがきの場合

往信	〒850-0874 長崎市魚の町5-1 長崎市中央公民館 「講座名」係	白紙	この面には何も 記入しないで ください	返信	〒 受講申込者の 郵便番号 住所 氏名
					①講座名 ②郵便番号 住所 ③受講者氏名 (ふりがな) ④年齢 ⑤連絡先電話番号

往復はがき(126円)をご購入いただき、上記の要領でご記入のうえ、お送りください。
※注意 受講結果を印刷しますので1講座につき、はがき1通で受付となります。

◎インターネットの場合

下記サイト(中央公民館公式WEB)の申込フォームに必要事項を入力の上、送信してください。

※注意 メールアドレスの誤入力や迷惑メール対策を行っている場合は確認メールが届きません。また、迷惑メール対策を行っている場合は「@ngs-shiminkaikan.jp」を受信設定にしてください。

申込み用
QRコード



◎直接来館される場合

返信連絡用として官製はがき(63円)の表面にご自分の住所・氏名を記入のうえ、ご持参ください。

応募締切

10/15(火)

必着

〈主催・お問合せ〉

長崎市中央公民館 〒850-0874 長崎市魚の町5-1(長崎市民会館)

〈電話〉095-825-1948(平日9時~17時) 〈公式WEB〉<https://ngs-shiminkaikan.jp/>

NGS 市民会館

